WEB フロントエンド 1 日目 Chapter-01

「タグ(tag)」

<想定開発環境>

OS (Operation System) : Windows 10 または 11

エディタ(Text Editor) : Microsoft Visual Studio Code(通称 VSCode)

ブラウザ (Web Browser) : Google Chrome

① HTMLファイルを作ろう

- ・メモ帳を開きます
- ・「WEB フロントエンド」または、自分の好きな文章を入れます。
- ・適当な名前(迷ったら"test.txt"とでも)でデスクトップ上に保存します。
- ・拡張子を"txt" から"html"に変更します。
- ・そのままダブルクリックし、ファイルを開きます。
- ・先程書いた文章が、ブラウザ上で表示されていれば OK です。

② VSCode を使おう

- ・エディタと言っても、することはメモ帳と基本的には同じです。
- ・ただし、数多くの役立つ機能が備わっているため、開発には必須です。
- ・まずはプロジェクトルート (Project Root) となるフォルダを作成します。
- ・ファイル整理ルール決めている人は自分が分かりやすいように作ってください。
- ・そうでない方は USB の直下に"WEB フロントエンド"というフォルダを作成します。
- ・今後の授業では、このフォルダがプロジェクトルートになります。
- ・そしてさらにその中に"01_tag"という名前でフォルダを作ります。
- ・今日の授業では、このフォルダの中に"tagtest.html"を作り、ここに記述します
- ・先程デスクトップ上に作った html ファイルは削除してください

③ タグを書いてみよう

【h:見出し】

- ・"01 tag"フォルダの中に"tagtest.html"という名前でファイルを作成します
- ・ダブルクリックすると、右のウインドウに同じ名前のタブ(tab)が出来ます
- ・これがファイルの中身で、ここに次のように記述してください

<h1>東京クールジャパン</h1>

東京クールジャパン

- ・<>で囲まれたかたまりが「タグ」で、必ず半角で入力します。
- ・多くのタグは開始タグ(<>)で始まり、終了タグ</>で終わります。
- ・記述したらファイルをブラウザにドラッグ&ドロップ(Drag & Drop)します
- ・タグがある場合とない場合で、表示がどのように変わるでしょうか?
- ・文字の大きさがそれぞれ違って表示されているのがわかると思います
- ・<h1>の"h"は heading、つまり見出しの意味で、h6 まであります。
- ・試しに1から6まで全部書いて順番に並べてみましょう。
- \cdot <h1></h1>のような一つのまとまりを要素(element)と呼びます

【p:段落】

- ・今度はタグを使ってみます。pは paragraph(段落)の意味です。
- ・次のように記述してみてください

<h2>東京クールジャパン</h2>

ゲーム・アニメの制作を学ぶ専門学校です

- ・<h2>タグやタグを入れた場合、行が改行されます。
- ・試しにこのタグを全部取り去って、ブラウザで表示してみると…

東京クールジャパンゲーム・アニメの制作を学ぶ専門学校です

- ・2 行で分けて書いているのに、全て繋がって表示されてしまいます。
- ・これは改行についても同じで、例えばいくら次のように記述しても……

<h2>東京クールジャパン</h2>

<ケーム・アニメの制作を学ぶ専門学校です</p>

- ・ブラウザではどのように表示されていますか?
- ・改行を入れても入れなくても、二つの分の間隔は同じままのはずです
- ・これはブラウザが html ファイルを読み取る時、改行文字を認識しないからです

[br:break]

・
という、break の意味を持つタグがあります。次のように記述してみてください。

<h1>東京クールジャパン</h1>

br>

ゲーム・アニメの制作を学ぶ専門学校です

- ・これを使えば、一応改行は出来ます。が……
- ・改行が必要な文章の場合はpタグを使いましょう
- ・また大きな空白を作るために br タグを連続して使うのはおすすめしません
- ・メンテナンス(maintenance)性や、ブラウザ読み取りで不都合な時があるためです
- ・大きな空白を作りたい場合は、今後学習する「CSS」を使いましょう

【!--: コメント (Comment)】

・今度は次のように入力してみてください

<h2>東京クールジャパン</h2>

<!-- ここはコメント -->

ゲーム・アニメの制作を学ぶ専門学校です

- ・<!-- -->の部分がコメントタグです。
- ・エディタでは表示されますが、ブラウザ上では表示されません。
- ・今後追加するタグについてのメモや、共同作業者への注意書きとして利用されます
- ・ただし Chrome の検証ツールを使えば、コメントは確認出来ます。
- ・検証ツールについては、また次の機会に詳しく説明します。

【a:リンク (Link)】

- ・WEBサイトには別ページやサイト移動出来るリンクという機能があります。
- ・タグでリンクを表現するには、次のように記述します。

<h2>東京クールジャパン</h2>

<!-- ここはコメント -->

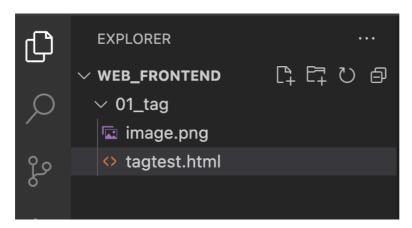
ゲーム・アニメの制作を学ぶ専門学校です

東京クールジャパン

- ・hrefというのはリンク先を記述するための設定項目のようなものです。
- ・各タグにはその役割に応じてこういった項目があり、これらを**属性(**attribute)と呼びます
- ・上の例で言うと、「a タグの href 属性に URL を設定する」という表現になります。

【img:画像 (image)】

- ・画像を表示するには img タグを使います
- ・表示するには画像が必要なので、好きな画像を検索してダウンロードしてください (著作権に引っかかるような画像は避けたほうが良いでしょう)
- ・思い浮かばない場合は「いらすとや」さんが良いかもしれません。フリーです。
- ・ダウンロードした画像のファイル名を「image」に変更し、01_tag フォルダ直下に置く



- ※ リストが表示されていない場合、左上のボタン(Explorer button)を押すと表示されます
- ・下記のように img タグを追加します。img タグには終了タグがありません
- ・画像の大きさが適切でない場合は、下記のように width (幅) 属性を追加してください

```
<h2>東京クールジャパン</h2>
<!-- ここはコメント -->
ゲーム・アニメの制作を学ぶ専門学校です
<a href="https://www.cooljapan.ac.jp/">東京クールジャパン</a>
<img src="image.png" width="200px">
```

- ※ 上記の例は拡張子が png の画像をダウンロードした場合です。
- ・tagtest.html ファイルをブラウザに D&D して表示します。

東京クールジャパン

ゲーム・アニメの制作を学ぶ専門学校です

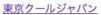


東京クールジャパン

- ·img タグを a タグの下に配置したのに、リンクより上にあるように見えます
- ・これは上にあるのではなく、右に並んでいる状態だからです
- ·aもimgも、改行されない要素であるため、このような表示になります
- ・では、img をリンクの下に表示させるにはどうしたら良いでしょうか?

東京クールジャパン

ゲーム・アニメの制作を学ぶ専門学校です





④ 今回のまとめ

- ・HTML はタグで記述する
- ・タグはその機能ごとに、様々な種類がある
- ・開始タグ、終了タグ、要素、属性
- ・改行される要素と改行されない要素がある(これは今後また学習します)

⑤ 講師から一言

・要素や属性を、全部覚える必要はありません!! (ただ、どんな機能があったのかは覚えておくように。検索出来ないのでw)